

身近な地質スポット

貫入岩(花崗岩)露頭／春日井市廻間

春日井市北東部の基盤をなす岩盤は、古生層およびこれを貫く花崗岩類（貫入岩）です。春日井市廻間町周辺では北部に古生層が露頭し、南部は第三紀層よりなります。この古生層は一般に秩父古生層と呼ばれ、チャート、砂岩、粘板岩よりなります。第三紀層は、粘土分を多く混在した礫質土よりなり、土岐砂礫層と呼ばれています。今回紹介する地質スポットはそんな古生層と第三紀層との境界部付近に突如現れる、貫入岩（花崗岩）の露頭です。

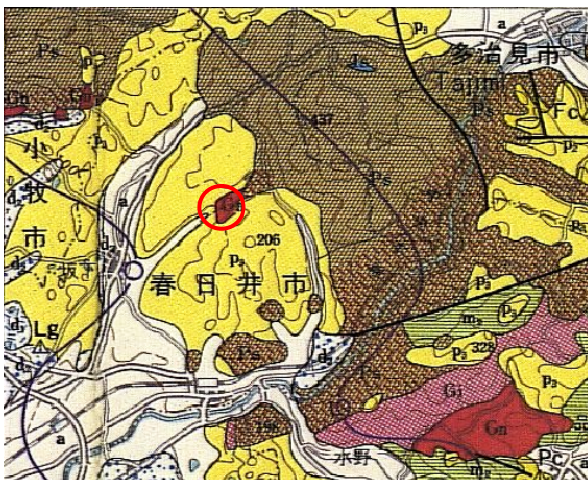
下の写真のとおり、タマネギ状風化により硬質部が瘤のように取り残され、おもしろい風景を作り出しています。

土岐砂礫層の小高い山裾から散策路を上ると幅30m程度の沢を横切ります。

すると突然花崗岩の露頭が目飛び込んできます。軟質化した接触部が開析され沢地形を生んだのでしょうか。

さらに奥には史跡「廻間古墳」があります。古代の人も周囲と一風変わったこの地を安住の地と選んだのでしょうか。

散策路はつづき、築水池、自然公園へとつながっています。ここらではもう古生層の露岩が見られます。3つの時代の地盤を一度に味わえる全長700m程度の小規模な散策路です。



調査地付近の地質図

(出典: 20万分の1「豊橋」図幅地域の地質図／地質調査所)

Gn: 苗木・上松花崗岩

地質図にもちゃんと花崗岩の分布が示されています。瀬戸市水野地域に分布する花崗岩と同類です。中生代末～新生代初期に貫入したものと考えられており、中～粗粒の黒雲母花崗岩である。

花崗岩成帯 Contact aureole	黒雲母アムロ岩 Biotite adamellite
苗木・上松花崗岩 Naegi-Agomaiwa granite	黒雲母・黒雲母・アムロ岩 Muscovite-biotite adamellite and biotite adamellite-granodiorite
武蔵花崗岩 Buzetsu granite	角閃石・黒雲母・アムロ岩 Hornblende-bearing biotite adamellite
伊奈川花崗岩 Inagawa granite	角閃石・黒雲母・花崗閃輝石 Hornblende-biotite granodiorite
小笠花崗岩 Obara granite	



タマネギ状風化

砂状(マサ土)の軟質部は降雨により流され、円形の硬質部のみ地表部に取り残されている。人工的な造形物にはない、自然のおもしろさが観察できます。

余談ですが、

この地質スポットの近くにはこんなお店がありました。

らうめん 白川



らうめん「白川」 愛知県春日井市白川町5-31-5
営業時間／11:30～14:00、18:00～21:00
定休日：月曜日、第3火曜日

高蔵寺駅北口から国道19号に向かう左側にひっそりとあります。素通りにご注意。

マンションの1Fの片隅にあります。
駐車場もありました。



本日は、「ネギらうめん／¥850」をいただきました。
縦に裂いた白ネギがたっぷり乗ったしょうゆらうめんでした。

夫婦が2人で切り盛りしていました。
座席は、カウンター10席弱、2人掛のテーブルが2つと店内はやや狭いが、
地域では人気のお店です。
しょうゆ、塩、味噌があり、辛口もありました。